

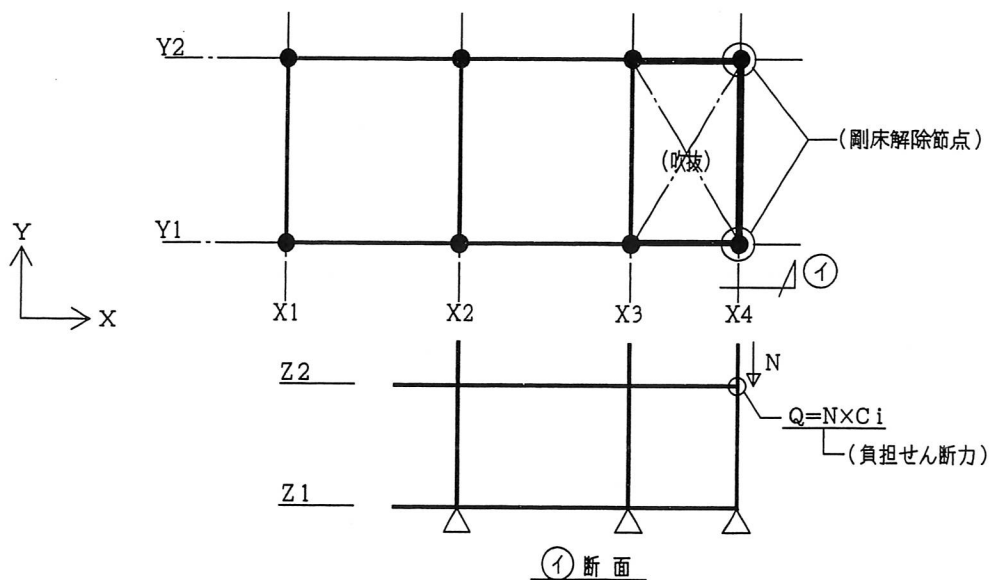
■ 質問

剛床解除した節点は、どのような仮定で計算されますか。

■ 回答

下記の仮定によります。

- ① 剛床内の各節点の面内変位は剛体として、幾何学的に結びついていると仮定しますが、剛床解除を設定した節点は独立した変位が生じるとして計算します。  
(大梁に軸応力が生じる。)
- ② 節点の変位と負担せん断力から、剛性を算出し剛性率・偏心率の計算に使います。
- ③ 剛床解除部分の剛性を無視することは、出来ません。



※ 大梁の軸応力発生

(例 : 下図参照)

- ・ Z2、ZR階の床に吹き抜けを設定.
- ・ Y1 通りが剛床解除部分となる.
- ・ 応力図においてY1 通りのZ2、ZR階梁に軸応力が発生するが、Y2 通りには生じない.

